

要求公表・予算案公表

事業番号	04 03 22	事業改善シート（25年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	小児初期救急医療体制整備事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・室	医療推進課	
					E-mail	iryu.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト						
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり	7-2 子育て先進県の実現				
		◆医療施策の充実	◆産科・小児科医療の提供体制の整備	実施期間		H16 ～	

1 事業の概要

目指す姿	幅広く初期診療を実施する小児科医の減少や、保護者の病院指向などのため、軽症者を含む多くの小児患者が休日・夜間の病院に集中することにより増大している病院勤務の小児科医の負担を軽減するため、小児初期救急医療体制の整備を促進する。					
現状	(1)小児救急電話相談事業(＃8000) 委託先:NPO法人e-MADO病気のこどもの総合ケアネット(毎日:19時～23時) 保護者の育児の経験不足による小児の病気やけがに対する不安に対応するため、小児患者の保護者に対する電話相談事業を委託して実施(合計2回線) (2)小児初期救急医療体制整備事業 補助対象:9団体(10施設) 補助率:1／2(県10／10) 夜間的小児初期救急医療体制を整備するため、地域の医師の協力により夜間的小児初期救急医療施設をセンター方式で運営する市町村等に対し運営費を助成する。					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助の活用実施とが効率的である。 救急医療対策事業実施要綱、医療提供体制推進事業費補助金交付要綱			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)					
	(1)小児救急電話相談事業(＃8000):年間5,000件弱の相談を受ける。 (2)小児初期救急医療体制整備事業:運営費補助が必要な小児初期救急センターのうち補助を行った施設数の割合 10／10施設					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25実施内容	H25		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
	小児救急電話相談事業	委託	小児救急電話相談(毎日19:00～23:00)	12,162		12,162
	小児初期救急医療体制整備事業	補助金	10施設	21,386		21,386
国庫返還金	直接	H24事業確定に伴う返還金		73	73	
		合計	33,548	73	33,621	
事業コスト	区分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25補正後
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	28,813	30,764	35,743	33,548
		補正予算				73
		合計(A)	28,813	30,764	35,743	33,621
	Aの財源	国庫支出金	3,921	4,767	7,009	6,790
		県債				
		その他(繰入金)		420	890	310
		一般財源	24,892	25,577	27,844	26,521
	決算額(B)		26,939	28,897	31,916	
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
	概算人件費(C)	832	826	826	826	
	概算事業費(B(A)+C)	27,771	29,723	32,742	34,447	
要求からの主な変更点		要求どおり				